

平成21年度県民活動団体の活動実態調査(案)

<アンケート調査御協力のお願ひ>

1. 調査の目的

山口県では、「山口県県民活動促進条例」の制定、「やまぐち県民活動きらめき財団」の設立、また、「やまぐち県民活動支援センター」の民営化など、県民活動支援体制の整備を図るとともに、県民活動を推進するための基本的な事項、必要な施策に関する事項を定める「山口県県民活動促進基本計画」を策定し、県民活動の促進を図っています。

このような取組の中、「山口県県民活動促進条例」に基づき、毎年、「県民活動白書」を作成しておりますが、本調査は、毎年県民活動団体の活動状況等を報告いただくことにより経年比較が可能となるなど、県民活動の現状や課題を明らかにするための貴重な資料となっております。

つきましては、御多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査に御協力いただきますようお願いいたします。

2. 調査対象

調査の対象としている団体は、県内に事務所を置くNPO法人及びやまぐち県民活動支援センターに登録している団体の約900団体です。

3. アンケートの結果

調査の結果は、統計的に取りまとめ、「県民活動白書」において公表するほか、「山口県県民活動促進基本計画」の改定作業に活用することとしており、他の目的で使用することはありません。

<記入に当たってのお願ひ>

- 1 御記入にあたっては、黒か紺色の鉛筆、ボールペン等をお願いいたします。
- 2 回答は、該当する番号に印を付ける場合と、数字等を具体的に記入していただく場合があります。
- 3 回答の際に該当する選択肢がない場合は、「その他」の()内に具体的に記入してください。
- 4 全ての回答を記入された後は、回答漏れ等がないか御確認ください。
- 5 アンケート用紙は、同封の返信用封筒により、平成21年5月28日(木曜日)までに送付してください。

<県担当課・問い合わせ先>

山口県環境生活部県民生活課県民活動推進班

TEL 083(933)2614

FAX 083(933)2629

平成 2 1 年度県民活動団体の活動実態調査票

団体名等を以下に御記入ください。

団体名	
代表者名	
記入者名	
住所等	〒
T E L	
F A X	
E -mail	
U R L	

以下は、該当する番号に を付けるか、該当する選択肢がない場合は、()内に数字や文章等を具体的に御記入ください。注)平成 2 1 年 4 月 1 日現在の状況をお答えください。(問 4、5 を除く)

問 1 . あなたの団体の会員は、現在男女何人ですか。

男()人 女()人 計()人

問 2 . 団体の活動年数についてお尋ねします。あなたの団体は創設されて何年になりますか。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 1 年未満 | 5 1 0 年以上 1 5 年未満 |
| 2 1 年以上 3 年未満 | 6 1 5 年以上 2 0 年未満 |
| 3 3 年以上 5 年未満 | 7 2 0 年以上 |
| 4 5 年以上 1 0 年未満 | |

問3．あなたの団体で取り組んでいる活動のうち重要度の高いものを6つ以内でお答えください。

- 1 健康づくり
- 2 医療
- 3 高齢者福祉
- 4 児童・母子福祉
- 5 障害者福祉
- 6 社会教育の推進
- 7 まちづくりの推進
- 8 学問文化芸術の振興
- 9 スポーツの振興
- 10 環境保全一般
- 11 リサイクル
- 12 自然保護
- 13 災害救援
- 14 犯罪防止
- 15 交通安全
- 16 人権の擁護
- 17 平和の推進
- 18 国際協力一般
- 19 国際交流
- 20 男女共同参画社会の形成
- 21 子どもの健全育成
- 22 情報化社会の発展
- 23 科学技術の振興
- 24 観光や産業等の振興
- 25 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援
- 26 消費生活
- 27 市民活動団体の支援
- 28 その他（ ）

問4．あなたの団体の平成19年度における支出総額（助成金等も含む）は次のうちどれですか。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 10万円未満 | 4 50万円以上100万円未満 |
| 2 10万円以上30万円未満 | 5 100万円以上500万円未満 |
| 3 30万円以上50万円未満 | 6 500万円以上 |

問5 . あなたの団体の平成19年度の収入源をお答えください。(主なもの3つ)

- 1 会費収入
- 2 県からの補助金・助成金
- 3 市町からの補助金・助成金
- 4 民間団体(財団も含む)からの助成金
- 5 企業からの寄付金
- 6 個人からの寄付金
- 7 収益事業からの繰入金
- 8 その他()

問6 . あなたの団体の事務所についてお答えください。

- 1 メンバーや会員の個人宅や勤務先に事務局を置いている。
- 2 公民館や社会福祉協議会等の公共施設内に置いている。
- 3 団体専用の事務所(家)を借りている。
- 4 団体専用の事務所(家)を自己所有している。
- 5 その他()

問7 . あなたの団体で困っていることは何ですか。(主なものを5つまで)

- 1 新規の会員を集めるのが難しい。
- 2 活動に参加できる会員や運営スタッフが不足し、活動が拡大していかない。
- 3 会員の高齢化が進んでいる。
- 4 会員が団体活動以外で忙しく、集まる時間がとれない。
- 5 活動の中心となる指導者やリーダー、活動に必要な専門知識を持つ人材が足りない。
- 6 活動資金が不足し、思うような活動ができない。
- 7 活動に伴う事故への責任・保険などに不安がある。
- 8 活動に必要な知識や技術の研修機会が不足している。
- 9 活動に必要な機材等が不足している。
- 10 活動に必要な会合や活動場所の確保が難しい。
- 11 行政や民間の活動支援のための制度の情報が得にくい。
- 12 他の団体の情報が得にくい。
- 13 活動や運営方法等について外部に適切な相談者や相談機関がない。
- 14 税の優遇措置がない。
- 15 その他()
- 16 特にない。

問 8 . あなたの団体が求める県の支援策等をお答えください。(主なものを3つまで)

- 1 情報、意見交換会の機会の提供によるネットワークの形成
- 2 県との協働の推進(協働型委託、補助、融資、共催、事業協力、政策提言、その他)
- 3 研修会、講座等の実施によるリーダー養成、技術習得の機会の提供
- 4 活動に必要な場所や物品、機材等の提供
- 5 活動支援のための制度等、行政情報の提供
- 6 行政が発行する広報紙等による団体の活動内容等の紹介
- 7 市町の活動支援センターの設置
- 8 公共施設の利用料の割引や優先利用
- 9 県(国)税の優遇措置
- 10 活動環境が良くなるよう、市町や企業等への働きかけ
- 11 その他()

問 9 . 行政と県民活動団体が協力すること(協働)についてどう思いますか。

- 1 非常に重要だと思う。
- 2 どちらかといえば重要だと思う。
- 3 どちらかといえば重要ではないと思う。
- 4 重要ではないと思う。
- 5 わからない。

問 10 . あなたの団体が今後活動していく上で、行政との関係はどのようにあるべきだとお考えですか。あなたの団体の方針に最も近い考え方を、以下の中から1つだけ選んでください。

- 1 なるべく行政と一緒に、行政の方針に沿う形で活動を進めていくべきだ。
- 2 行政と一緒にやれそうな部分については協力するが、できるだけ団体の自立性を尊重した活動を心がけていくべきだ。
- 3 行政とは一定の距離をとり、行政の機能や事業をチェックしたり、行政の方針とは異なる活動を積極的に展開していくべきだ。
- 4 その他()

問 11 . あなたの団体の活動で行政との協働によって、より大きな効果が得られたと思われる取組みなどがあれば、その取組みの内容等を具体的にお書きください。

協働の相手方(自治体名) _____

具体的な取組みの内容

()

問12. あなたの団体は、主な活動を進める上で、他の民間活動団体と交流しておられますか。以下の中からひとつだけ選んでください。

- 1 日頃から他の団体と積極的に交流したり、協力しあったりしている。
- 2 他の団体とはたまに交流する程度である。
- 3 他の団体とは全く交流していない。

問13. 【問12で1、2と答えの方へ】どのような交流や協力をなさっていますか。以下の中から主なものを3つまで選んでください

- 1 ニュースや広報紙の送付、インターネットなどを通じた活動情報の交換
- 2 定期的な交流会や学習会の開催
- 3 自主的なイベント等の共催
- 4 行政や公的機関が主催するイベントや委員会などを通しての情報交換・交流
- 5 寄附や出資など、財政面での支援や相互協力
- 6 主な活動への会員の派遣、人材面での協力
- 7 他団体との協働による活動拠点施設や事業等の運営
- 8 その他()

問14. 企業と何らかの連携・協力をしたことがありますか。

- 1 連携・協力あり
- 2 連携・協力なし

問15. 【問14で1と答えの方へ】どのような連携・協力をされましたか。当てはまるものはすべて選んでください。

- 1 企業が会員として加入
- 2 企業の県民活動を団体が受託した。
- 3 企業からの資金を受け入れた。
- 4 企業の所有施設等を借用した。
- 5 企業の所有機材等を借用した。
- 6 企業からの人材を受け入れた。
- 7 その他()

問16.【問14で1と答えた方へ】連携・協力を持った上での評価を教えてください。

- 1 大きな成果があった。
- 2 まあまあ成果があった。
- 3 どちらともいえない。
- 4 あまり成果がなかった。
- 6 まったく成果がなかった。

問17. 企業と連携・協力して活動を行う場合、貴団体に必要な条件は何ですか。(主なもの2つまで)

- 1 企業活動に対する理解を深める。
- 2 企業情報を収集する。
- 3 団体としての連携・協力事業の企画運営の能力を高める。
- 4 企業と交渉できる人材を育成・配置する。
- 5 団体情報を開示・発信し、社会的認知度を高める。
- 6 連携・協力に係る取組方針を明確にする。
- 7 自己資金の調達力を高める。
- 8 その他()

問18. あなたの団体の活動で企業との協働によって、より大きな効果が得られたと思われる取組みなどがあれば、その取組みの内容等を具体的にお書きください。

協働の相手方(企業名) _____

具体的な取組みの内容

()

問19. あなたは、「やまぐち県民活動支援センター」の機能を活用されたことがありますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問20.【問19で1と答えた方へ】どのようなことで活用されましたか。当てはまるものはすべて選んでください。

- 1 情報コーナーで各種募集や助成金等の情報を探した。
- 2 情報ボックスやロッカーを利用して団体間の情報交換を行った。
- 3 打ち合わせや会議・軽作業のために交流コーナーを利用した。
- 4 広報誌や印刷や加工などのためにワークコーナーを利用した。
- 5 NPO法人設立の相談のために利用した。
- 6 団体の運営、税務・会計、広報等の相談のために利用した。
- 7 セミナー・イベント・お出かけ相談会等に参加した。
- 8 その他()

問21. やまぐち県民活動支援センターの機能の中で更に充実してもらいたいと思われるものがあれば、問20に掲げる番号の中から当てはまるものを選び、その理由をお書きください。

番 号 ()

理 由

()

問22. やまぐち県民活動支援センターについて、お気付きがあればお書きください。

()

以上です。御協力ありがとうございました。